

講義3 アチェにおけるデータベース開発の現状

アチェ開発計画局における データ標準と地理空間 データ・システム

ナンダ・マウリナ アチェ州開発計画局アチェ地理空間データ・センター
Nanda Maulina (Pusat Data Geospasial Aceh, Bappeda Aceh)



本来ならセンター長が来るところですが、所用で来られませんので私が代わりにお話しします。今日のお話はデータ・システムとその標準化についてです。

■ 標準化と整理を通じて 広く利用されるデータベースを構築

アチェ州開発計画局では現在、アチェ地理空間データ・センター (PDGA、英語略称AGDC) を置いてデータベースの整備を進めています。このデータベースのシステムは統合的できちんと整理されたもので、広くいろいろな人たちに使ってもらえることを想定しています。

資料16-1に挙げたように、データとはバラバラで整理されていないもので、どこになにがあるか探しにくい状況があります。それがしだいに整えられていきます。理想的は分野ごとに整理されていることです。空間情報システムを使うことで、これらのデータが一つにまとめられると思います。

データを整理するにあたっては、データの標準化を心がけています。私たちが使っているデータベースで



資料16-1 データの整理のようす

は、テーマに応じた記述法が設定されています。それに基づいて20のテーマに分けてデータを分類します(資料16-2)。これ自体を変えることはできませんが、ほかの方法を使うことで現実に即した柔軟な対応が可能です。

また、これらのデータのセットをつくるにあたっては基本的な技術がいくつかあって、それを私たちは使っています。たとえばデータを集めるときに標準を広めることでその質を保証するような仕組みをつく

資料16-2 データ標準化のためのテーマごとの記述法

Tema	Deskripsi	Tema	Deskripsi
Budidaya	Beternak hewan dan bercocok tanam	Intelijen Militer	Pangkalan militer, struktur dan aktivitas
Biologi Ekologi	flora dan/atau fauna dilingkungan alami	Perairan Darat	fitur air daratan, sistem drainase dan kharakternya
Batas	Deskripsi batas yang diakui secara hukum	Lokasi	Informasi keruangan/ posisi
Iklim Cuaca Atmosfir	Proses dan fenomena atmosfer	Kelautan	Fitur dan karakteristik dari badan air laut (kecuali air daratan)
Ekonomi	kondisi dan Aktivitas ekonomi, serta ketenaga kerjaan	Perencanaan tata Ruang Kadaster	Informasi yang berhubungan dengan pertanahan dan penggunaan tanah.
Ketinggian	Ketinggian diatas dan dibawah permukaan laut	Masyarakat BudayaStruktura	Kharakteristik budaya dan masyarakat
Lingkungan	Sumber daya lingkungan, perlindungan dan pemeliharaan	Struktur	Konstruksi buatan manusia
Ilmugeo	Informasi yang berhubungan dengan ilmu kebumian	Transportasi	Perangkat yang membantu manusia dalam bepergian
Kesehatan	kesehatan, fasilitas kesehatan, ekology manusia	Utilitas Komunikasi	Utilitas dan fasilitas komunikasi
Citra dasar tutupan bumi	Peta dasar dan citra	Manajemen Darurat	Fasilitas darurat karena bencana alam, maupun wabah penyakit
		Kepolisian Keamanan	Polisi dan lokasi fasilitas keamanan



資料16-3 インドネシア国内データベースの模式図

るなどのいくつかのアプローチで、実際のデータベースの作成を促進しようとしています。

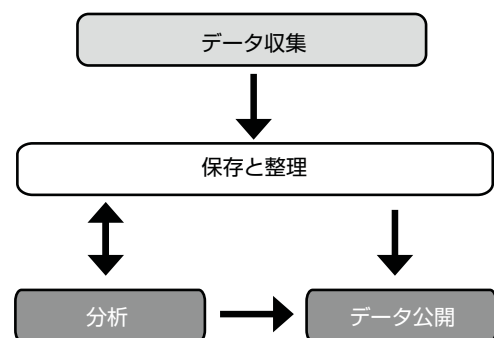
■ データを収集し、メタデータを付与して分析し、インターネット上に公開

もとのデータの集まりに対して、それを分類するうえで必要なアイテムの設定があります。それに即して分類することが必要です。

データベースを整備するうえではメタデータをきちんとつけることが重要です。誰が、なんのためにつくったのか、どのようなシステムを通じてつくったのかといった情報です。

資料16-3はインドネシア国内のデータベースのネットワークの模式図です。まわりのいくつかのデータを統合しているのが真ん中のシステムで、これが州レベルに設置されています。真ん中のところで統合し、さらにそこにメタデータがきちんとついていることによって、インターネットなどを通じて一般の人びとが利用しやすい状況になります。

仕事の流れは資料16-4のとおりです。まずデータを収集し、それを保存し、メタデータをつけるなどして整理をします。そのうえでそれを分析し、最終的には



資料16-4 データベース構築の流れ

人に見せられるかたちになります。

先ほど見た全国レベルのデータ整理のシステムは統合されたものですが、私たちが州レベルで使うものはより簡単で使いやすいかたちにしてあります。州開発局内、部局内のネットを使って情報共有したあとに、データベースとしてきちんと整理されるようになった段階で初めてインターネット上に公開します。

関心がありましたら、私たちのホームページにアクセスしてみてください。